

# 「とくしま水産創生ビジョン（第3期）」 骨子（案）

## 1 策定の趣旨

「コロナ禍」や「ウクライナ危機」の影響をはじめ、70年ぶりとなる漁業法の抜本改正、脱炭素化に向けた国の「みどりの食料システム戦略」の策定など、昨今の水産業をめぐる社会経済情勢の変化を踏まえ、本県水産業の「成長産業化への指針」として、新たな「とくしま水産創生ビジョン（第3期）」を策定する。

## 2 計画期間

令和5年度～8年度（4年間）

## 3 基本理念（目指す姿）

水産業の持続可能な成長の実現

## 4 基本方針

就業者の減少・高齢化、海洋環境の変化による水産資源の減少・藻類養殖業の不振、食の安全・安心や多様化する簡便化といった消費者ニーズへの即応、激甚化・頻発化する自然災害など、本県水産業が直面する様々な課題を解決し、「水産業の持続可能な成長」を実現するため、次のとおり、将来への戦略的布石として、施策展開の方向性を示す「5本の柱」を設定し、未来志向の施策を積極的に展開する。

- ① 浜を支える意欲ある担い手づくり
- ② 次世代へつなぐ水産資源と漁場づくり
- ③ 魅力あふれる養殖産品づくり
- ④ マーケットイン型の産地づくり
- ⑤ 安全・安心で活力ある浜づくり

## 5 ビジョン推進の視点

基本方針の具現化にあたっては、「コロナ禍」を契機とした社会変化や行動変容を的確に捉えるとともに、「デジタル化」「グリーン化」の視点を取り入れ、成長実現への「共通の処方箋」として、次の3事項を新たに設定する。

- ① 水産業のスマート化を支える「水産DX」の推進
- ② 変化する海洋環境への適応を図る「水産GX」の加速
- ③ 産地強化に向けた「ポストコロナ新時代」の市場開拓

### （参考）

#### ○ 新ビジョンの施策体系

